

(別記)

令和7（2025）年度七宗町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕作面積に占める主食用米面積の割合が3割であり、転換作物に占める野菜の割合が少なく、麦・大豆・飼料用作物などの作物作付けに至っては極少量であり、転換作物の作付けの大半を加工用米に依存している。

主食用米の需要が減少するなかで、耕作地の維持を図るためには野菜などへの転換作物への作付けを促進する必要がある。

なおかつ、農家の高齢化が極まり、戸数の減少も著しいことから不耕作地の割合の増加が進み、鳥獣害により耕作者の生産意欲の低下を招き、農地の適正管理が緊急な課題となっている。地域の中心となる経営体への農地利用の集積・集約化を進め、不耕作地を減らすことで課題解決に繋げたい。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

主食用米から加工用米や地域振興作物への作付転換を推進しているが、現状では思うように進展していない。担い手への農地集積や集約化を行うとともに、生産規模拡大に取り組む担い手を対象に、農業機械の導入を支援することで生産効率を高め、収益性を向上させる。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農業従事者や高齢化による後継者不足から不耕作地が増加傾向にある。地域の担い手や営農組合への農地集約・新規担い手の育成などを促進することで、耕作放棄地を解消し、耕作地の維持・拡大に努める。また作付け状況を把握し、水稻（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないかの点検を行い、点検結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化の検討を行う。

4 作物ごとの取組方針等

（1）主食用米

生産目標の目安及び換算面積を厳守し、近年の需要面積や今後の需要動向及び集荷業者等の意向を勘案し主食用米の生産を図る。

（2）非主食用米

ア 飼料用米

作付けが減少傾向にある。施策等を有効活用し、加工用米の取組とのバランスを考慮し取り組んでいく。

イ 加工用米

当該地域での転用作物の中心に位置づけ、JA との出荷契約を推進する。また、コスト削減に取り組み、現状の作付け規模の維持、拡大を推進する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

当該地域での作付面積は、全体の数%と極めて低く、作付け品目も大豆がほとんどであるが、地産地消を目指して、その生産の維持を図る。

(4) 地力増進作

地力増進作物の活用を推奨し、高収益作物や地域振興作物への転換を推進する。

(5) 高収益作物

地力増進作物
ライ麦、エン麦、地力セสบانيا、地力ソルガム・スーダングラス、地力レンゲ、地力クローバー、地力イタリアングラス、地力ベッチ、青刈リトウモロコシ、地力ひまわり

トマト、さといも、スイートコーン、きゅうり、なす、かぼちゃ、ほうれんそうを地域振興作物とし、パイプハウス等の活用を促進して、年間を通じた作付けを行う。

5 作物ごとの作付予定面積等	～	8 産地交付金の活用方法の明細
----------------	---	-----------------

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）は省略。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	55.17		53.97		55	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	0		0		1	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0		0	
加工用米	6.05		5.54		5.5	
麦	0		0		0	
大豆	0.33		0.34		0.7	
飼料作物	0		0		0	
・子実用とうもろこし	0		0		0	
そば	0		0		0	
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0.58		0.58		0.58	
高収益作物	1.18		1.30		1.50	
・野菜	1.18		1.30		1.50	
・花き・花木	0		0		0	
・果樹	0		0		0	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他	0		0		0	
	0		0		0	
畑地化	0		0		0	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
1	野菜（基幹作） トマト、さといも、スイー トコーン、きゅうり、な す、かぼちゃ、ほうれんそ う	地域振興作物助成	トマトの作付面積	（令和6年度）	12a	（令和8年度）	19a
			さといもの作付面積	（令和6年度）	25a	（令和8年度）	22a
			スイートコーンの作付面積	（令和6年度）	10a	（令和8年度）	26a
			きゅうりの作付面積	（令和6年度）	0a	（令和8年度）	6a
			なすの作付面積	（令和6年度）	18a	（令和8年度）	5a
			かぼちゃの作付面積	（令和6年度）	53a	（令和8年度）	70a
			ほうれんそうの作付面 積	（令和6年度）	0a	（令和8年度）	2a
			総作付面積	（令和6年度）	118a	（令和8年度）	150a
2	加工用米（基幹作） 飼料用米（基幹作）	低コスト化助成	加工用米取組面積	（令和6年度）	605a	（令和8年度）	550a
			飼料用米取組面積	（令和6年度）	0a	（令和8年度）	100a
			加工用米・飼料用米の総取組面積	（令和6年度）	605a	（令和8年度）	650a
			加工用米・飼料用米の生産コスト		19,000円／60kg		16,000円／60kg

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 岐阜県

協議会名: 七宗町農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	地域振興作物助成	1	12,000	トマト,さといも,スイートコーン,きゅうり,なす,かぼちゃ,ほうれん そう	交付対象作物を生産し、道の駅「野彩ひろば」等へ出荷販売すること
2	低コスト化助成	1	14,000	加工用米・飼料用米	農薬の苗箱播種同時処理の実施等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。